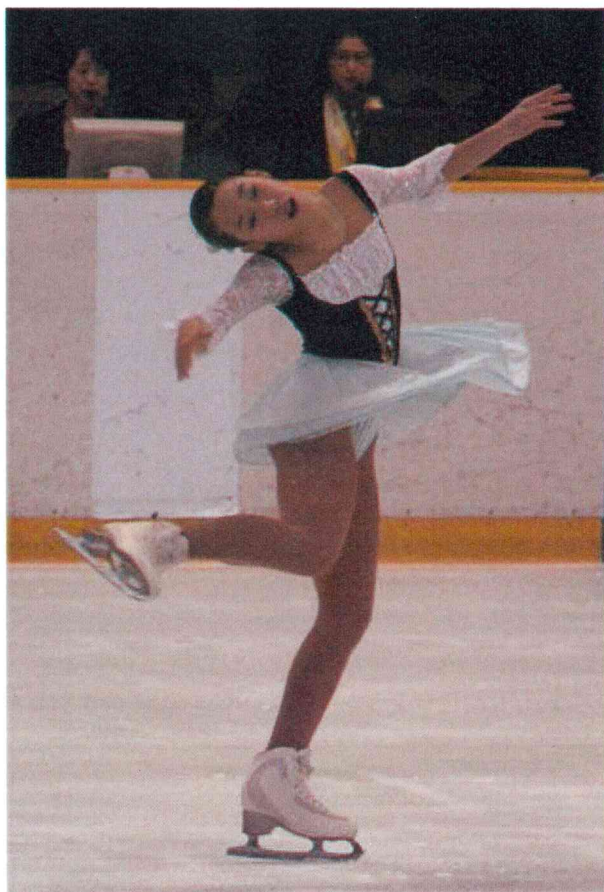


## フィギュアスケート

# GPファイナル・バルセロナ 女子ジュニア 憧れ真央 追い、三原初舞台

毎日新聞 2015年12月9日 東京夕刊



全日本ジュニア選手権でフリーを演じる三原舞依 = 茨城県ひたちなか市内で2015年11月23日、福田智沙撮影

### 「ミスなく滑りたい」

フィギュアスケートの女子ジュニアの有望株、16歳の三原舞依（まい） = 神戸ポートアイランドク = が10日にスペイン・バルセロナで開幕するジュニアグランプリ（GP）ファイナルに出場する。伸びのあるスケートングを武器に、初めての舞台で表彰台を目指す。

三原はジュニア3年目となる今季、8月のジュニアGPシリーズのスロバキア大会、9月のオーストリア大会とともに2位となり、ファイナル進出を決めた。丁寧な滑りと質のいいジャンプでショートプログラム（SP）とフリーの合計はスロバキア大会で179・36点、オーストリア大会は182・05点と、シニアに劣らない得点をマーク。2戦ともジュニアでトップを争うロシア勢に次ぐ成績で、国際的な評価を得た。

しかし、11月の全日本ジュニアでは、SPで冒頭の連続3回転ジャンプの最初のルッツで転倒し、15位と出遅れた。それでも、憧れの浅田真央（中京大）を思い浮かべ、「浅田選手のように攻めよう」と気持ちを切り替えた。ソチ五輪のSPで出遅れながらもフリーの気迫のこもった滑りで巻き返した浅田さながらに、翌日のフリーでは力強い演技ですべてのジャンプを着氷。8位まで順位を上げる意地を見せた。

ジュニアGPファイナルには、今季全7戦の総ポイント上位6人が進出。女子は三原に加え、ともに14歳の白岩優奈（ゆうな） = 京都醍醐ク、本田真凜（まりん） = 大阪・関大中 = の日本勢3人がロシア勢に挑む。

「SPもフリーもミスなく滑りたい」と三原。2005年GPファイナルの浅田の演技を見たことをきっかけに始まったスケート人生を、さらに大きく花開かせる舞台としたい。

【福田智沙】